

第64回全国大会東北八戸大会「地域再興フォーラム」

～美しく先駆けよう！すべては未来を生きる人のために～

【開催概要】

日時：2015年9月26日(土) 13:00 ～ 14:00

会場：八戸市公会堂 大ホール(定員1,624名) 中継会場：八戸市公民館 ホール(定員492名)

対象：市民200名・JCメンバー1,916名 合計2,116名

講師：相川俊英氏、木下斉氏

講演内容

2015年度地域グループが推進してきた運動についてテーマを設け、相川氏と木下氏でクロストークを行います。

●テーマ1

地域を経営することの重要性とはく地域グループの取り組み：地域経営ガイドライン>

人口減少等の社会構造の変化に対応するには官民一体となって限りある資源を有効活用することが重要となります。行政による税金の再分配に頼るのではなく、まち全体で地域を経営し、本質的にお金を生み出すという視点に立つべきです。地域住民が、自分たちの自治体の財政状況を把握し、当事者意識を持つことについて考えます。

●テーマ2

独自性を活かした戦略による市民先導のまちづくりとはく地域グループの取り組み：滞在型観光業パッケージ>

国や自治体の資金に頼りきりの取り組みでは、地域の真の活性化は生まれません。始めは小さくても自立した民間による取り組みが地域を活性化させます。またその取り組みには希少性、すなわち地域の独自性を活かした戦略が必要となります。地域が抱える課題とそれを乗り越えようとする地域の事例を交えて市民先導のまちづくりとは何か考えます。

●テーマ3

真の地域の自立自活とはく地域グループの取り組み：地域再興政策コンテスト>

行政と民間は相互に連携し合い、民間こそが実践者として地域の問題解決策を考え、解決への政策を提言する必要があります。地方創生を成し遂げるのは国ではなく地方です。それも地方の自治体ではなく、地域住民一人ひとりです。そのためには地域住民が自分たちの地域が持つ強みと弱みを知り尽くした上で独自性を持ったオンリーワン戦略すなわちナンバーワン戦略を立てる必要があります。地域再興政策コンテストで得た知識を今後どう活かすかについて言及しながら、地域内外の連携協力体制を構築し、自立自活が持続可能なまちづくりについて考えます。地域再興戦略骨子を手元で確認してもらいながら、ビッグデータを活用し、広域連携DMO(Destination Marketing & Management Organization)・CCRC(Continuing Care Retirement Community)・社会インパクト投資の3つの力点による政策立案のポイントを解説してもらい、参加者への具体的な行動喚起をします。

